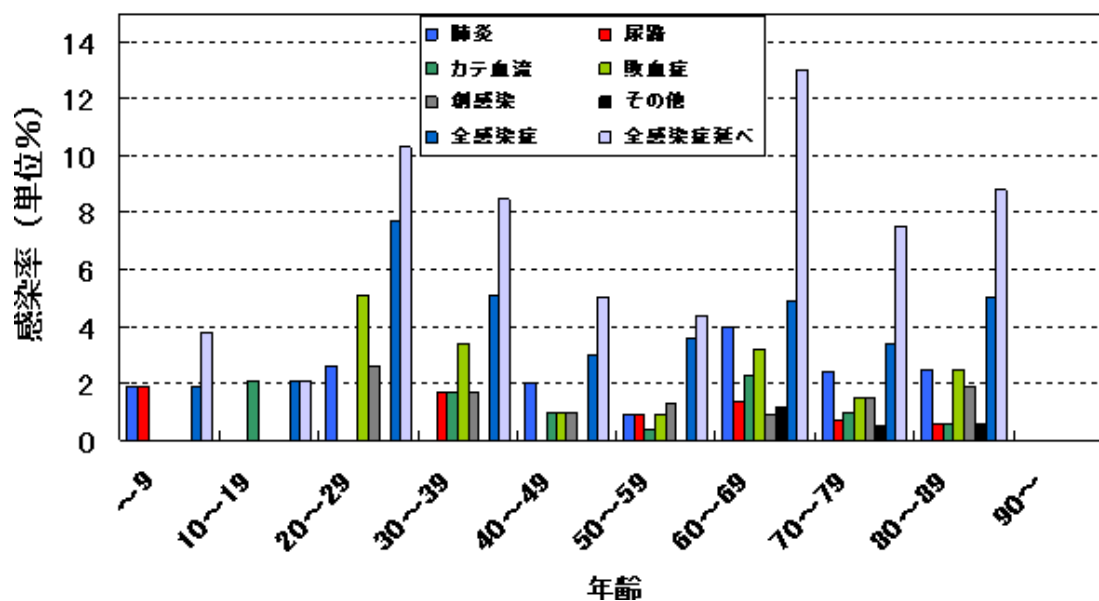


表9.年齢別感染率



年齢階層	肺炎	尿路	カテ血流	敗血症	創感染	その他	全感染症	全感染症延べ
~9	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	3.8
10~19	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1
20~29	2.6	0.0	0.0	5.1	2.6	0.0	7.7	10.3
30~39	0.0	1.7	1.7	3.4	1.7	0.0	5.1	8.5
40~49	2.0	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0	3.0	5.0
50~59	0.9	0.9	0.4	0.9	1.3	0.0	3.6	4.4
60~69	4.0	1.4	2.3	3.2	0.9	1.2	4.9	13.0
70~79	2.4	0.7	1.0	1.5	1.5	0.5	3.4	7.5
80~89	2.5	0.6	0.6	2.5	1.9	0.6	5.0	8.8
90~	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	2.3	0.9	1.2	1.9	1.2	0.5	4.0	8.1

表 10 . 起炎菌別感染症別患者数

菌名	耐性 / 感受性	肺炎	尿路	カテ血流	敗血症	創感染	その他	全感染症	全感染症延べ
MRSA	耐性	7	0	3	6	12	2	18	30
CNS	耐性	1	0	4	1	0	1	4	7
PRSP	耐性	1	0	0	0	0	0	1	1
E.coli	感受性	1	3	0	0	0	0	4	4
Klebsiella pneumoniae	感受性	3	0	0	0	0	0	3	3
Enterobactor spp	感受性	0	1	1	0	0	0	2	2
Serratia marcescense	感受性	2	0	1	0	0	0	2	3
Aeromonas spp	感受性	1	0	0	1	0	0	1	2
Pseudomonas aeruginosa	感受性	4	4	1	4	1	0	8	14
Stenotroph.maltophilia	感受性	1	0	1	0	0	0	2	2
Chryseobacterium meningosepti	感受性	1	0	0	0	0	0	1	1
Candida spp	感受性	0	3	3	2	0	1	6	9
その他	感受性	17	4	4	13	6	5	23	49

表 11 . デバイス日当たりの感染患者数

カッコの値は症例数

リスク種別	リスク調整感染率	耐性	感性
肺炎(症例単位)	6.340	24.8 (9)	75.2(17)
尿路(症例単位)	1.882	41.9 (3)	58.1(10)
カテ血流(症例単位)	3.107	44.7 (6)	55.3(9)
全感染症(症例単位)	3.410	35.1 (18)	64.9(36)
肺炎(患者単位)	5.365	30.5 (8)	69.5(14)
尿路(患者単位)	1.738	30.8 (2)	69.2(10)
カテ血流(患者単位)	2.900	36.2 (5)	63.8(9)
全感染症(患者単位)	3.031	33.3 (15)	66.7(33)

◀ 概要・1・2・3・4 ▶

【全入院患者サーベイランスの目的】

院内感染対策サーベイランスの一環として、全国の200床以上の病院のうち本サーベイランスの趣旨に賛同して参加を希望した医療機関の協力を得て、院内感染対策に問題となりうる薬剤耐性菌による感染症患者の発生動向等のデータの提供を受け、患者の基礎疾患その他の背景因子、関連因子等を解析した結果を参加医療機関に還元し、また解析結果の要点を広く一般に公開することにより、全国の医療機関において実施されている院内感染対策を支援することを目的とする。

調査対象菌種としてMRSA、PRSP、メタローラクタマーゼ産生グラム陰性桿菌、多剤耐性緑膿菌、VRE、VRSA、その他危険と思われる薬剤耐性菌を選び、これらの耐性菌による感染患者情報を収集し、データの集計・解析を行い、季報・年報として要点を公表する。季報としては以下の内容を公表する。

【解説】

今回の季報（2006年10～12月）における調査参加施設数は59施設で、調査対象となった総入院患者数は190,622名であった。そのなかで薬剤耐性菌による感染症を引き起こした患者数は841名であった。

各月毎に感染症に罹っている患者数を各月の総入院患者数で除したものをその月の感染率(‰)として表し、その月に新たに感染症に罹患した患者数の割合を罹患率(‰)として表した。3ヶ月間の平均感染率は4.41‰、平均罹患率は3.57‰であった。

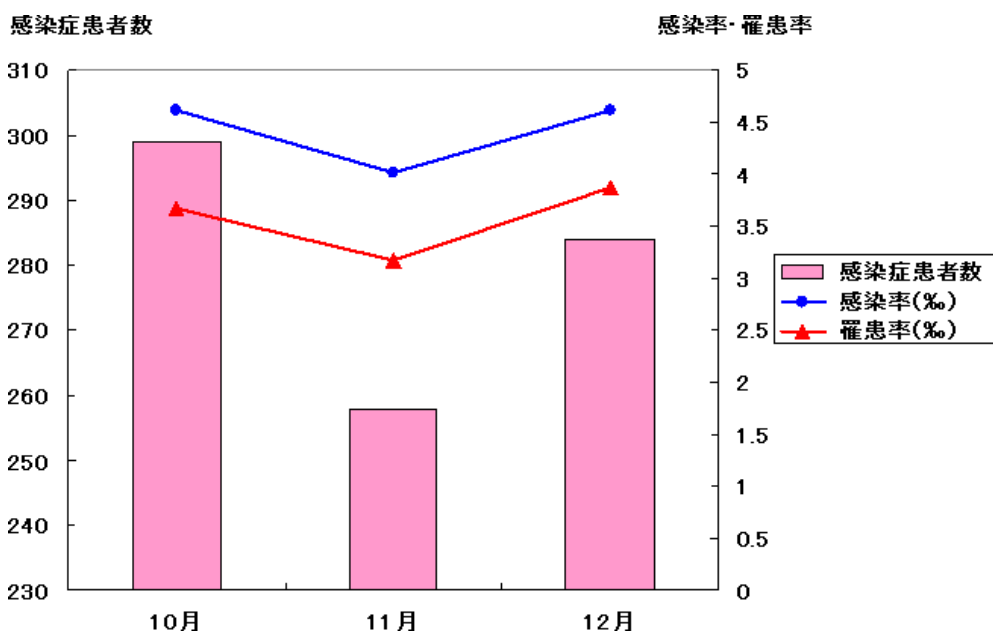
薬剤耐性菌による感染症の92.15%はMRSA感染症であり、次いでPRSP感染症は2.85%であった。多剤耐性緑膿菌による感染症は1.78%であった。VRE感染症の報告はなかった。感染症の42.71%は肺炎であり、次いで手術創感染（14.84%）、皮膚・軟部組織感染症（10.45%）、菌血症（9.81%）、消化器系感染症（6.71%）、尿路感染症（4.39%）の順であった。MRSA感染症に感染した患者の基礎疾患は、悪性腫瘍（19.89%）が最も多く、次いで循環器系疾患（19.01%）、呼吸器系疾患（13.70%）、神経系疾患（10.39%）、消化器系疾患（8.40%）、内分泌代謝疾患（7.40%）の順であった。診療科別では、内科系が40.77%、外科系が58.32%であった。MRSA感染症患者の体温分布では37.1 以上～38.9 未満が49.03%を占め、39.0 以上（19.23%）を加えると37.1 以上が68.26%であった。白血球数分布では10,001/μL以上が49.29%、CRP値分布では1.1mg/dL以上～10.0mg/dL未満が43.48%、10.1mg/dL以上が35.74%であった。

- [表1](#) . 感染率及び罹患率の推移
- [表2](#) . 薬剤耐性菌別感染症患者数
- [表3](#) . MRSA感染症の感染症名内訳
- [表4](#) . MRSA感染症の基礎疾患名内訳
- [表5](#) . MRSA感染症の診療科内訳
- [表6](#) . MRSA感染症患者の体温分布
- [表7](#) . MRSA感染症患者の白血球数分布
- [表8](#) . MRSA感染症患者のCRP値分布

なお、集計不能なデータを除いたため、表によって計が異なる場合があります。

表1. 感染率及び罹患率の推移

	10月	11月	12月	計
感染症患者数	299	258	284	841
新規感染症患者数	237	204	238	679
総入院患者数	64,711	64,410	61,501	190,622
感染率(‰)	4.62	4.01	4.62	4.41
罹患率(‰)	3.67	3.17	3.87	3.57
参加施設数	59	59	59	



感染症患者数：調査対象とした薬剤耐性菌による感染症患者の数

総入院患者数 = 前月からの繰越患者数 + 新入院患者数

新規感染症患者数 = 新規の感染症患者の数 (= 罹患患者数)

継続感染症患者数 = 先月から継続している感染症患者の数

感染率(‰) = (感染症患者数) ÷ (総入院患者数) × 1000

罹患率(‰) = (新規感染症患者数) ÷ (総入院患者数 - 継続感染症患者数) × 1000

注(1)：表の「計」は3ヶ月の感染症患者数、新規感染症患者数、総入院患者数を単純に加えたものです。感染率、罹患率はこれらに基づいて算出してあり、3ヶ月の平均を示しています。

注(2)：参加施設数が月によって異なります。

表2. 薬剤耐性菌別感染症患者数

薬剤耐性菌名	10月	11月	12月	計
M R S A	279(93.31%)	234(90.70%)	262(92.25%)	775(92.15%)
MRSA+多剤耐性緑膿菌	1(0.33%)	1(0.39%)	0(0.00%)	2(0.24%)
多剤耐性緑膿菌	6(2.01%)	5(1.94%)	4(1.41%)	15(1.78%)
P R S P (P I S P も含む)	6(2.01%)	9(3.49%)	9(3.17%)	24(2.85%)
メタ β ラクターゼ 産生 グラム陰性桿菌	1(0.33%)	1(0.39%)	3(1.06%)	5(0.59%)
MRSA+メタ β ラクターゼ 産生 グラム陰性桿菌	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)	0(0.00%)
その他	6(2.01%)	8(3.10%)	6(2.11%)	20(2.38%)
感染症患者数計	299(100.00%)	258(100.00%)	284(100.00%)	841(100.00%)
参加施設数	59	59	59	

注: 「計」は3ヶ月の薬剤耐性菌別感染症患者数を単純に加えたものです。

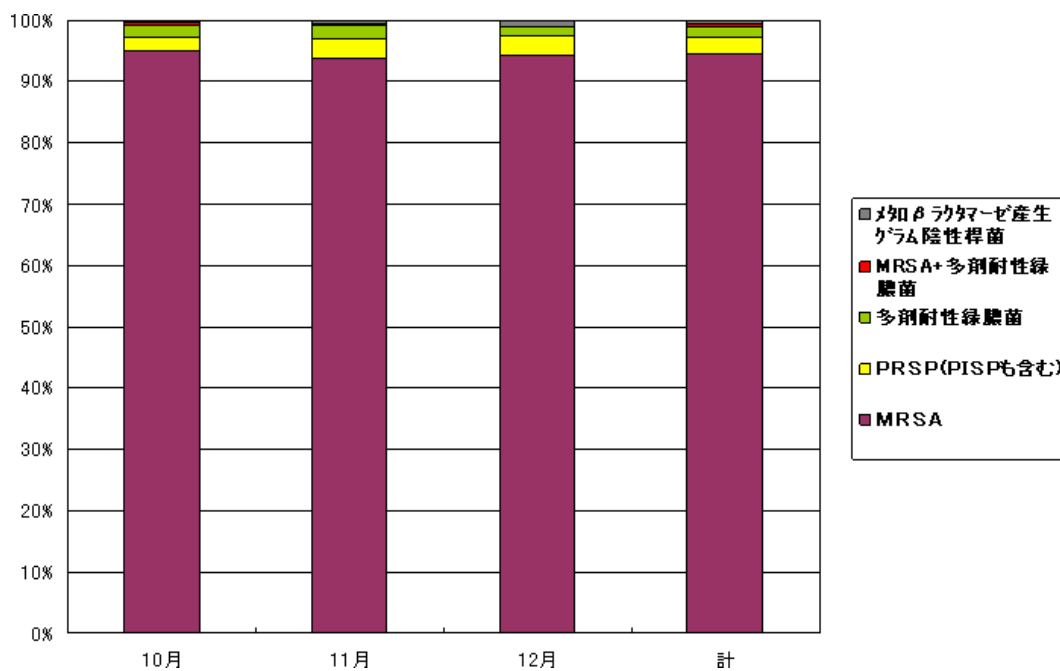
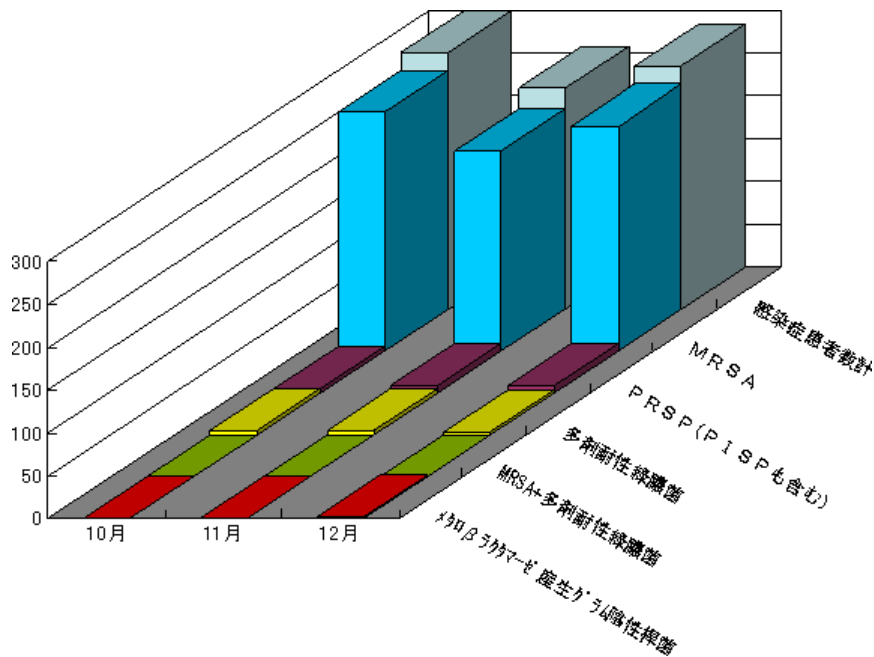


表3.MRSA感染症の感染症名内訳

感染症名	10月	11月	12月	計
尿路感染症	13(4.66%)	11(4.70%)	10(3.82%)	34(4.39%)
肺炎	107(38.35%)	97(41.45%)	127(48.47%)	331(42.71%)
肺炎以外の呼吸器感染症	12(4.30%)	8(3.42%)	7(2.67%)	27(3.48%)
消化器系感染症	21(7.53%)	13(5.56%)	18(6.87%)	52(6.71%)
中枢神経系感染症	1(0.36%)	0(0.00%)	1(0.38%)	2(0.26%)
皮膚・軟部組織感染症	26(9.32%)	27(11.54%)	28(10.69%)	81(10.45%)
手術創感染	41(14.70%)	38(16.24%)	36(13.74%)	115(14.84%)
菌血症	35(12.54%)	24(10.26%)	17(6.49%)	76(9.81%)
その他の感染症	23(8.24%)	16(6.84%)	18(6.87%)	57(7.35%)
計	279(100.00%)	234(100.00%)	262(100.00%)	775(100.00%)

注：(1)「計」は3ヶ月のMRSA感染症の感染症名の報告数を単純に加えたものです。
 注：(2)MRSA感染症の集計はMSRAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

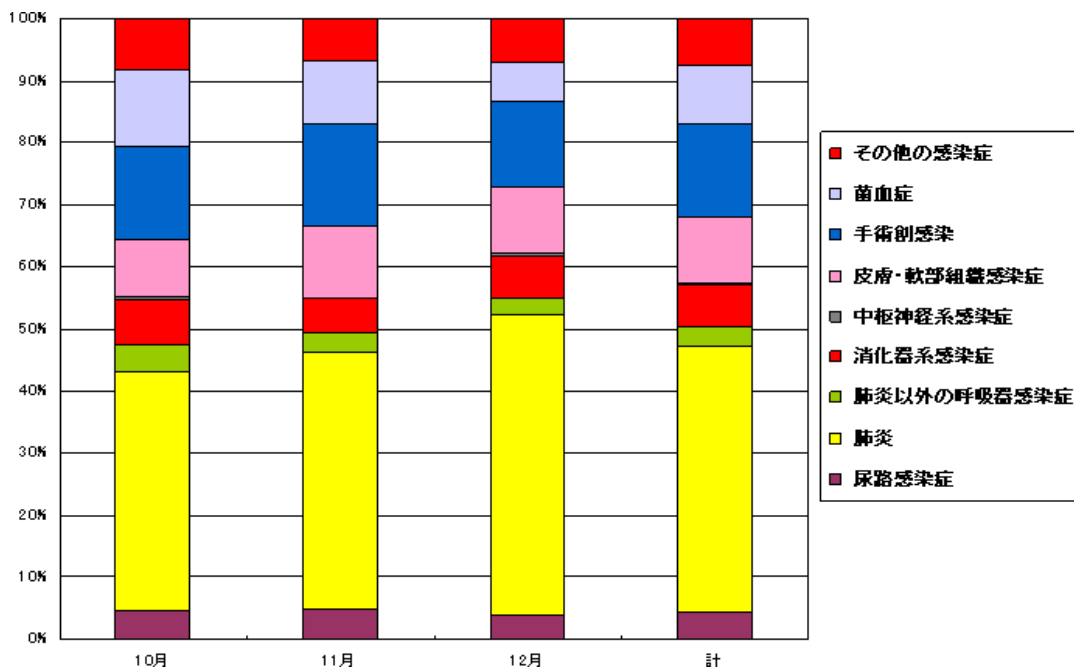
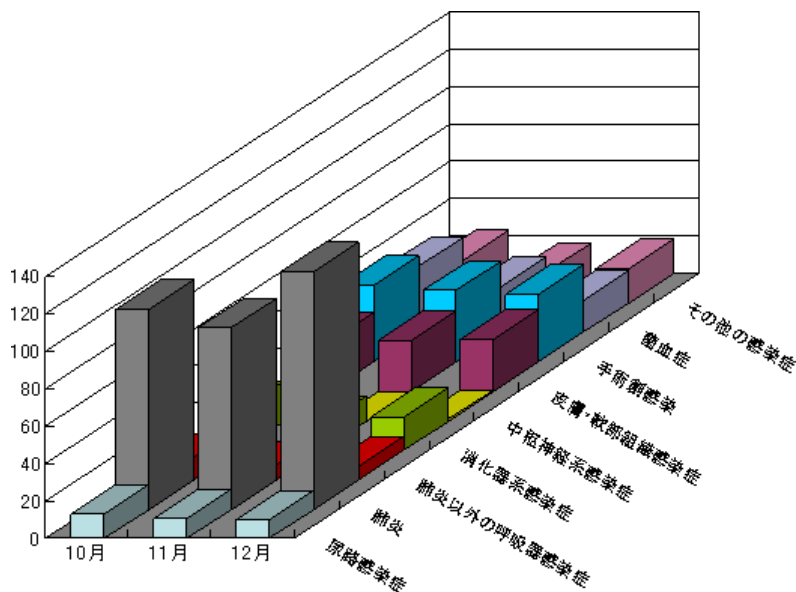


表4. MRSA感染症の基礎疾患名内訳
2007/03/15

基礎疾患名	10月	11月	12月	計
悪性腫瘍	66(20.43%)	60(22.39%)	54(17.20%)	180(19.89%)
尿路系疾患	21(6.50%)	8(2.99%)	17(5.41%)	46(5.08%)
呼吸器系疾患	36(11.15%)	37(13.81%)	51(16.24%)	124(13.70%)
循環器系疾患	70(21.67%)	38(14.18%)	64(20.38%)	172(19.01%)
消化器系疾患	21(6.50%)	32(11.94%)	23(7.32%)	76(8.40%)
神経系疾患	35(10.84%)	29(10.82%)	30(9.55%)	94(10.39%)
精神系疾患	7(2.17%)	5(1.87%)	6(1.91%)	18(1.99%)
内分泌代謝疾患	21(6.50%)	20(7.46%)	26(8.28%)	67(7.40%)
自己免疫疾患	10(3.10%)	7(2.61%)	4(1.27%)	21(2.32%)
その他の疾患	36(11.15%)	32(11.94%)	39(12.42%)	107(11.82%)
計	323(100.00%)	268(100.00%)	314(100.00%)	905(100.00%)

注：(1) 1患者の基礎疾患名に重複があるために、件数は患者数より多くなっています。
 注：(2) 基礎疾患名別の統計情報の収集が行われていないので、基礎疾患名別の感染率は表示できません。
 注：(3) 「計」は3ヶ月のMRSA感染症の基礎疾患名の報告数を単純に加えたものです。
 注：(4) MRSA感染症の集計はMSRAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロ ラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

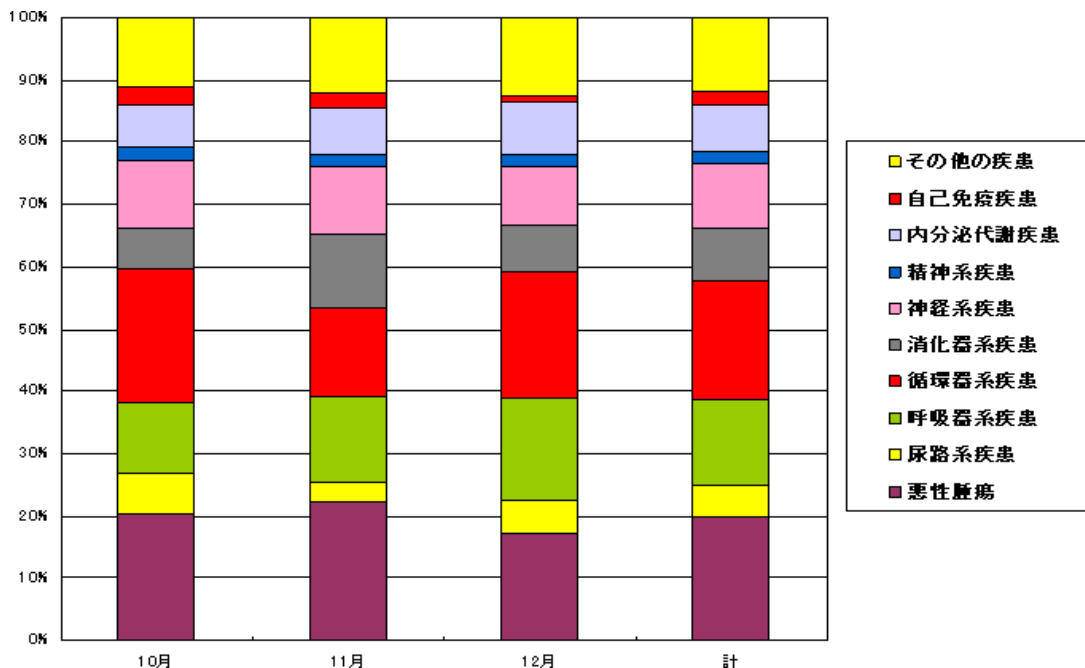
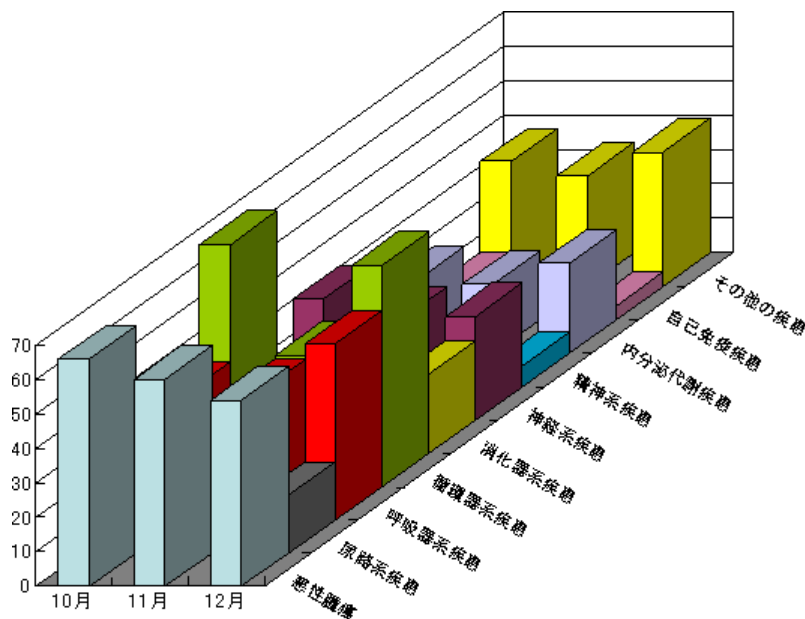
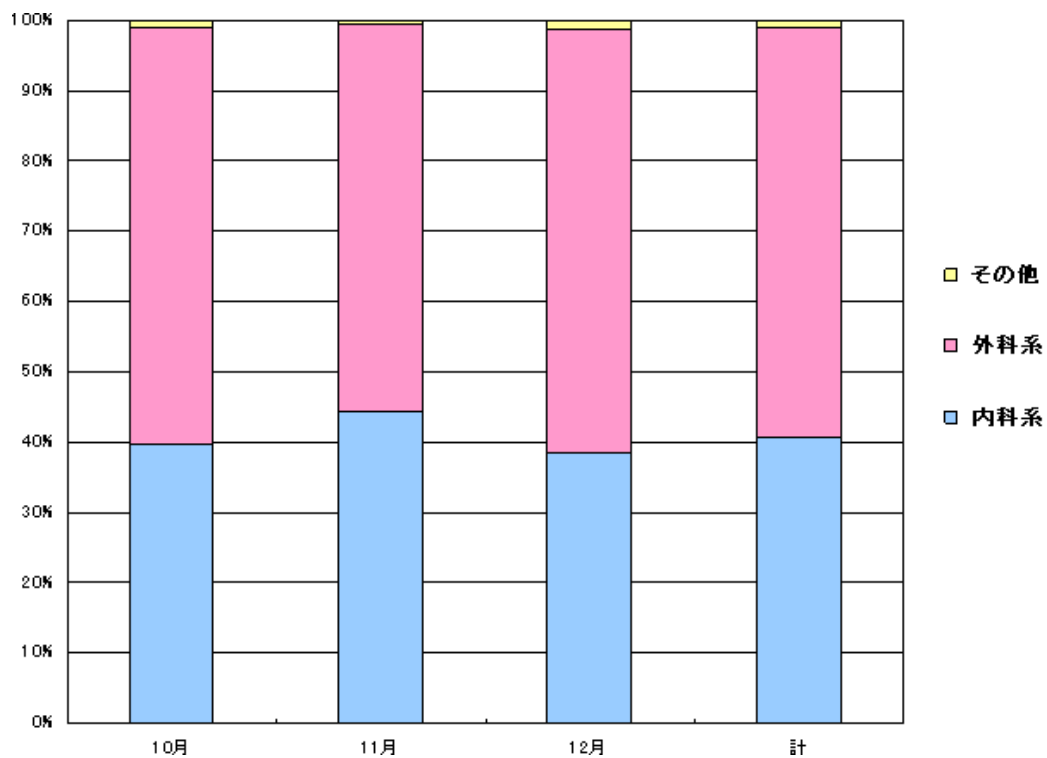
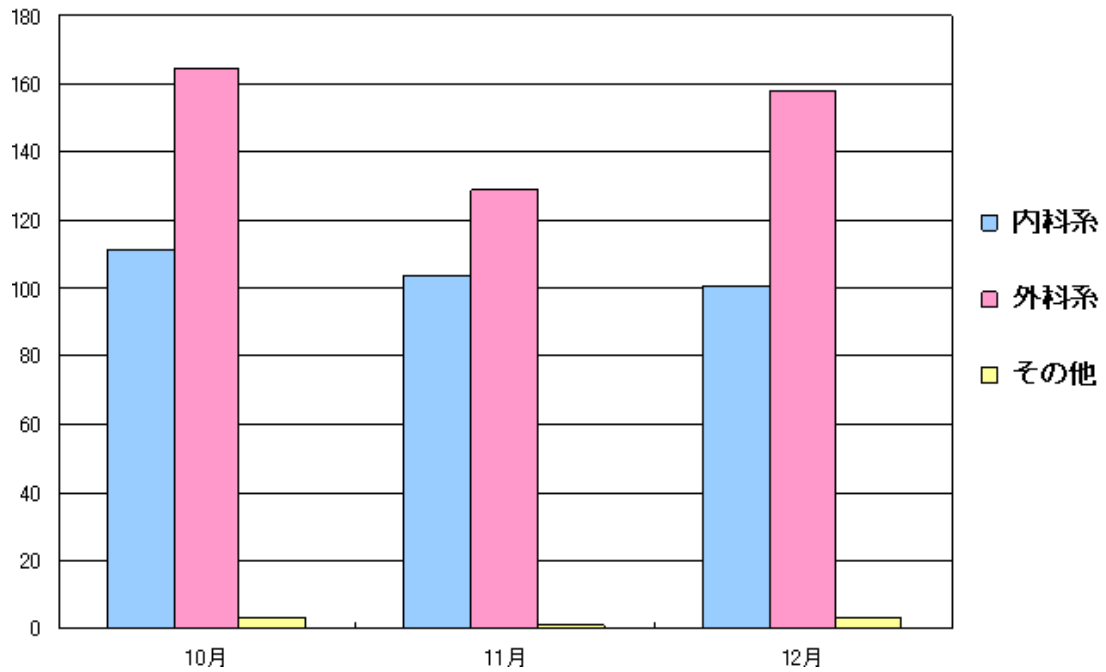


表5.MRSA感染症の診療科内訳

診療科	10月	11月	12月	計
内科系	111(39.78%)	104(44.44%)	101(38.55%)	316(40.77%)
外科系	165(59.14%)	129(55.13%)	158(60.31%)	452(58.32%)
その他	3(1.08%)	1(0.43%)	3(1.15%)	7(0.90%)
計	279(100.00%)	234(100.00%)	262(100.00%)	775(100.00%)

感染患者数



内科系:内科、循環器科、神経内科、呼吸器科、消化器科、小児科、心療内科、神経科、精神科、放射線科、麻酔科、
リウマチ科、胃腸科、アレルギー科

外科系:外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、産婦人科、産科、婦人科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、
泌尿器科、皮膚泌尿器科、脳神経外科、形成外科、歯科、歯科口腔外科、小児歯科、矯正歯科、気管食道科、
美容外科、肛門科

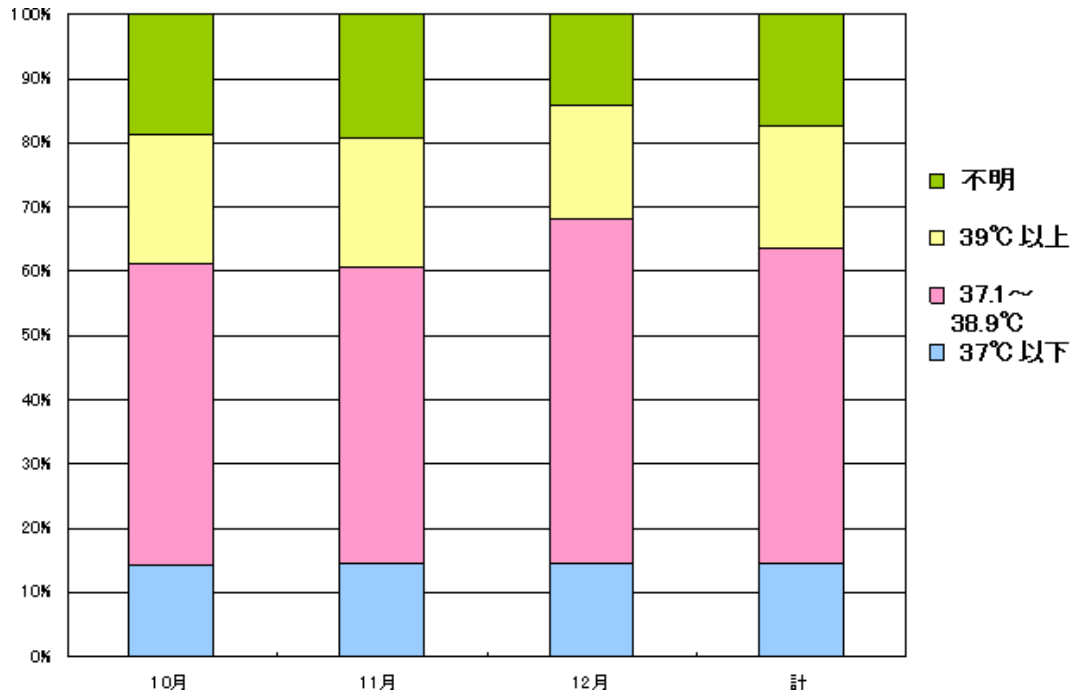
その他:性病科、リハビリテーション科、その他

注:(1)「計」は3ヶ月のMRSA感染症の診療科名の報告数を単純に加えたものです。

注:(2) MRSA感染症の集計はMSRAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロ βラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

表6.MRSA感染症患者の体温分布

体温	10月	11月	12月	計
37 以下	40(14.34%)	34(14.53%)	38(14.50%)	112(14.45%)
37.1～38.9	131(46.95%)	108(46.15%)	141(53.82%)	380(49.03%)
39 以上	56(20.07%)	47(20.09%)	46(17.56%)	149(19.32%)
不明	52(18.64%)	45(19.23%)	37(14.12%)	134(17.29%)
計	279(100.00%)	234(100.00%)	262(100.00%)	775(100.00%)

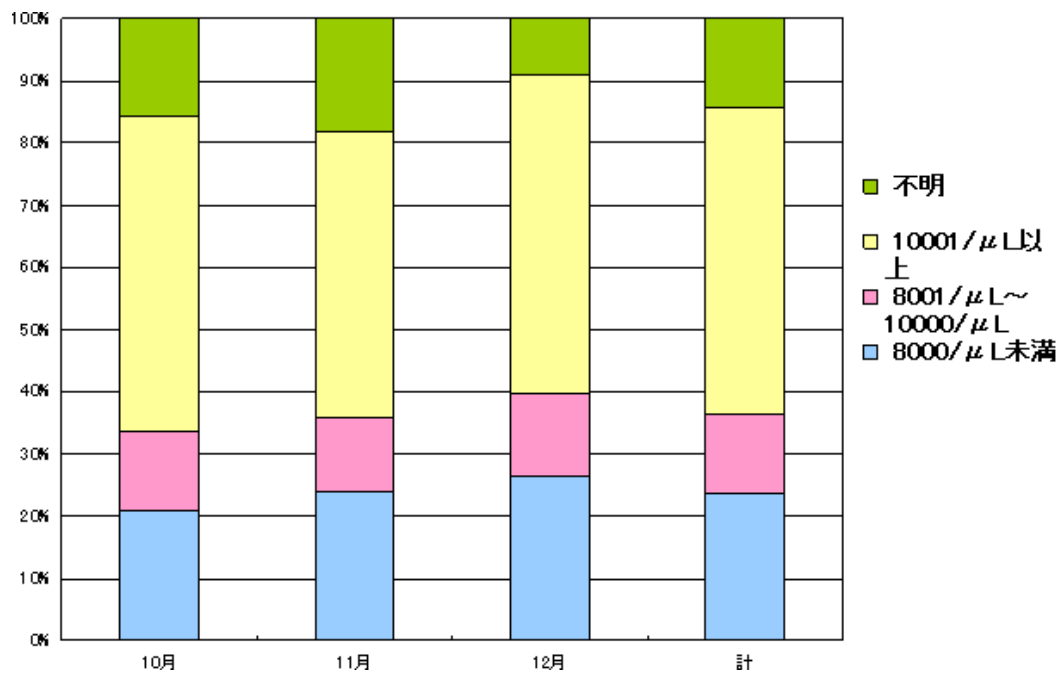


注:(1)「計」は3ヶ月のMRSA感染症の体温の報告数を単純に加えたものです。

注:(2)MRSA感染症の集計はMSRAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

表7.MRSA感染症患者の白血球数分布

	10月	11月	12月	計
8000/ μ L未満	58(20.79%)	56(23.93%)	69(26.34%)	183(23.61%)
8001/ μ L～10000/ μ L	36(12.90%)	28(11.97%)	35(13.36%)	99(12.77%)
10001/ μ L以上	141(50.54%)	107(45.73%)	134(51.15%)	382(49.29%)
不明	44(15.77%)	43(18.38%)	24(9.16%)	111(14.32%)
計	279(100.00%)	234(100.00%)	262(100.00%)	775(100.00%)

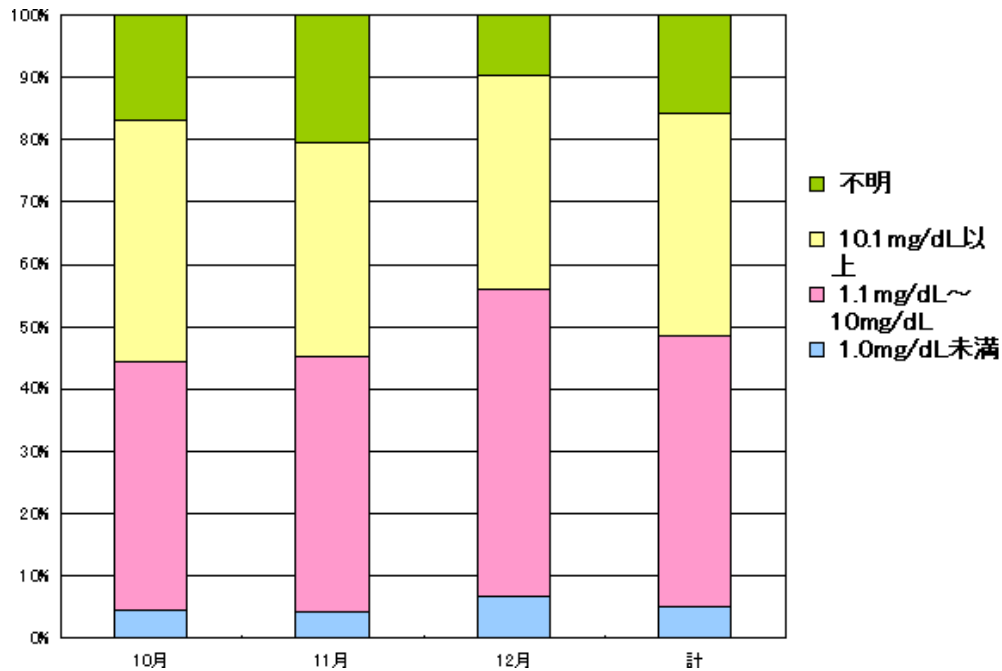


注：(1)「計」は3ヶ月のMRSA感染症の白血球の報告数を単純に加えたものです。

注：(2)MRSA感染症の集計はMSRAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

表8 . MRSA感染症患者のCRP値分布

CRP値	10月	11月	12月	計
1.0mg/dL未満	12(4.30%)	10(4.27%)	18(6.87%)	40(5.16%)
1.1mg/dL～10mg/dL	112(40.14%)	96(41.03%)	129(49.24%)	337(43.48%)
10.1mg/dL以上	108(38.71%)	80(34.19%)	89(33.97%)	277(35.74%)
不明	47(16.85%)	48(20.51%)	26(9.92%)	121(15.61%)
計	279(100.00%)	234(100.00%)	262(100.00%)	775(100.00%)



注：(1)「計」は3ヶ月のMRSA感染症のCRP値の報告数を単純に加えたものです。

注：(2)MRSA感染症の集計はMSRAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

◀ 概要・1・2・3・4 ▶

【全入院患者サーベイランスの目的】

院内感染対策サーベイランスの一環として、全国の200床以上の病院のうち本サーベイランスの趣旨に賛同して参加を希望した医療機関の協力を得て、院内感染対策に問題となりうる薬剤耐性菌による感染症患者の発生動向等のデータの提供を受け、患者の基礎疾患その他の背景因子、関連因子等を解析した結果を参加医療機関に還元し、また解析結果の要点を広く一般に公開することにより、全国の医療機関において実施されている院内感染対策を支援することを目的とする。

調査対象菌種としてMRSA、PRSP、メタロラクタマーゼ産生グラム陰性桿菌、多剤耐性緑膿菌、VRE、VRSA、その他危険と思われる薬剤耐性菌を選び、これらの耐性菌による感染患者情報を収集し、データの集計・解析を行い、季報・年報として要点を公表する。年報としては以下の内容を公表する。

【解説】

今回の年報(2006年1～12月)では、調査参加施設数は64施設で、調査対象となった総入院患者数は756,554名であった。そのなかで薬剤耐性菌による感染症を引き起こした患者数は3,657名であった。薬剤耐性菌別では、MRSA感染症患者は3,357名で、MRSAと多剤耐性緑膿菌との混合感染症患者は17名、MRSAとメタロラクタマーゼ産生グラム陰性桿菌との混合感染症患者は2名であった。PRSP感染症患者は109名、多剤耐性緑膿菌感染症患者は46名、メタロラクタマーゼ産生グラム陰性桿菌感染症患者は23名であった。VRE、VRSA感染症の報告はなかった。

感染症患者数を総入院患者数で除した感染率(‰)は4.83‰であった。新規感染者数を総入院患者数から継続感染者数を引いた数で除した罹患率(‰)は4.00‰であった。耐性菌別の感染率、罹患率はそれぞれMRSA感染症では4.44‰、3.69‰、PRSP感染症では0.14‰、0.14‰、多剤耐性緑膿菌感染症では0.06‰、0.05‰であった。

感染症患者の性別はMRSA感染症患者及びPRSP感染症患者ともに60%以上が男性であった。年齢別ではMRSA感染症患者の60%以上が70歳以上であったが、PRSP感染症では10歳未満が48.6%と低年齢層に多かった。

検出検体をみると、MRSA感染症の検体では呼吸器系が46.4%と最も多く、次いで血液・穿刺液系(12.4%)、消化器系(6.1%)の順であり、呼吸器系の中でも喀出痰が75.0%を占めていた。PRSP感染症の検体では呼吸器系が90.8%を占め、その内訳は喀出痰(53.5%)、咽頭粘液(35.4%)、鼻腔内(6.1%)の順であった。

薬剤耐性菌による感染症名の内訳は、MRSA感染症については肺炎が最も多く41.9%で、次いで手術創感染(11.9%)、菌血症(11.3%)、皮膚・軟部組織感染症(8.6%)の順であった。PRSP感染症については肺炎(55.0%)、肺炎以外の呼吸器感染(35.8%)、菌血症(5.5%)の順であった。

薬剤耐性菌による感染症患者全体の基礎疾患名の内訳は、悪性腫瘍が最も多く18.7%、次いで循環器系疾患(18.5%)、呼吸器系疾患(13.0%)、神経系疾患(10.4%)、消化器系疾患(8.8%)、内分泌代謝疾患(8.3%)の順であった。MRSA感染症患者では同様の傾向であった。

診療科別内訳は感染症患者全体では内科系46.3%、外科系54.4%であり、MRSA感染症患者では、内科系44.4%、外科系54.4%であった。PRSP感染症患者では内科系が87.2%を占めた。

感染症患者の体温分布を見ると、MRSA感染症患者では37.1以上～38.9未満が51.3%と最も多く、39以上の20.6%を合わせて37.1以上が71.9%で、37以下は15.7%であった。PRSP感染症患者では37.1以上～38.9未満が50.5%、39以上の28.4%と合わせると37.1以上が78.9%で、37以下が11.0%であった。白血球数分布ではMRSA感染症患者、PRSP症患者とも10,001/μL以上が半数を占めた。CRP値分布ではMRSA感染症患者において10.1mg/dL以上は40.6%を占め、PRSP感染症患者では36.7%であった。

[表1](#) . サーベイランス参加施設の規模内訳

[表2](#) . 薬剤耐性菌別感染症及び罹患患者数の内訳

[表3](#) . 感染症及び罹患患者の性別内訳

[表4](#) . 感染症及び罹患患者の年齢別内訳

[表5](#) . 感染症及び罹患患者の検体内訳

[表6](#) . 感染症及び罹患患者の感染症名内訳

[表7. 感染症及び罹患患者の基礎疾患名内訳](#)

[表8. 感染症及び罹患患者数の診療科内訳](#)

[表9. 感染症及び罹患患者の体温分布](#)

[表10. 感染症及び罹患患者の白血球数分布](#)

[表11. 感染症及び罹患患者のCRP値分布](#)

なお、集計不能なデータを除いたため、表によって計が異なる場合があります。

◀ 概要・1・2・3・4 ▶

表1. サーベイランス参加施設の規模内訳

病床数	～399	400～599	600～799	800～999	1000以上	計
参加施設数	21	27	13	2	1	64

参加施設数

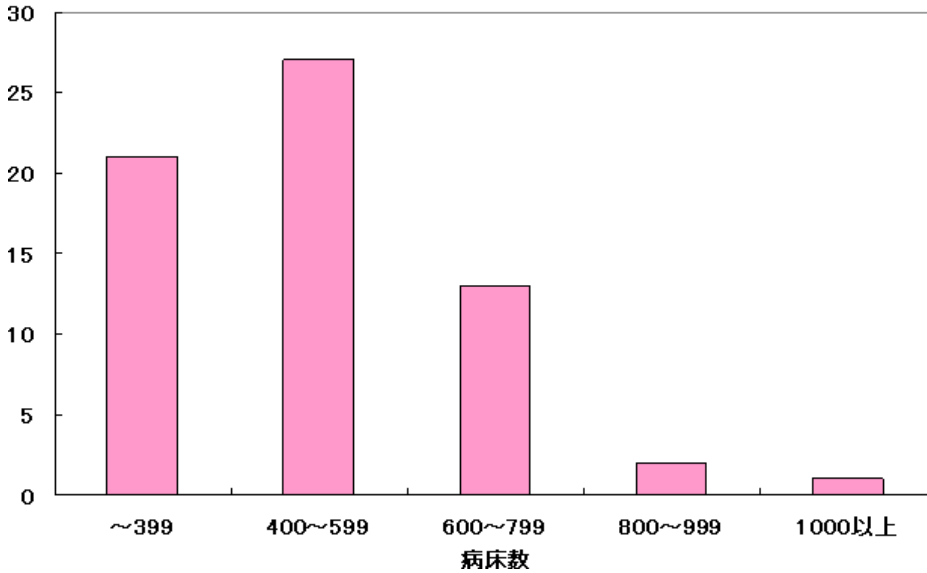


表2. 薬剤耐性菌別感染症および罹患患者数の内訳

薬剤耐性菌名	感染症患者数	罹患患者数	感染率(%)	罹患率(%)
MRSA	3,357	2,787	4.44	3.69
MRSA+多剤耐性緑膿菌	17	11	0.02	0.01
多剤耐性緑膿菌	46	35	0.06	0.05
PRSP (PISPも含む)	109	108	0.14	0.14
メロ ラクタム-セ 産生グラム陰性桿菌	23	21	0.03	0.03
VRE	0	0	0.00	0.00
VRSA	0	0	0.00	0.00
MRSA+メロ ラクタム-セ 産生グラム陰性桿菌	2	2	0.00	0.00
その他	103	61	0.14	0.08
感染患者数計	3,657	3,025	4.83	4.00
参加施設数	64			

総入院患者数 756,554名

感染症患者数：調査対象とした薬剤耐性菌による感染症患者の数

総入院患者数 = 前年からの繰越患者数 + 新入院患者数

新規感染症患者数 = 新規の感染症患者の数 (= 罹患患者数)

継続感染症患者数 = 前年から継続している感染症患者の数

感染率(%) = 感染症患者数 ÷ 総入院患者数 × 1000

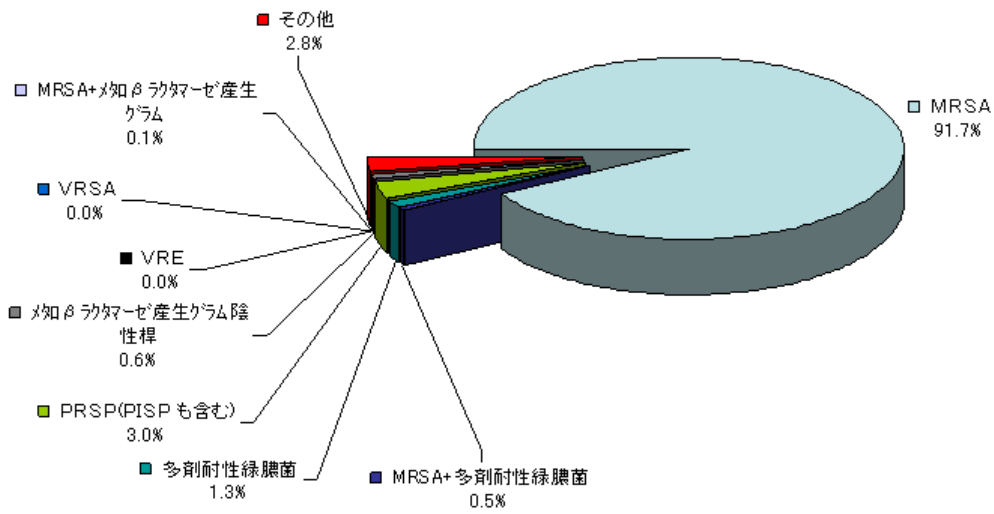
罹患率(%) = 新規感染症患者数 ÷ (総入院患者数 - 継続感染症患者数) × 1000

注(1)：総入院患者数、感染症患者数、罹患患者数は毎月の報告数を単純に加えたものです。

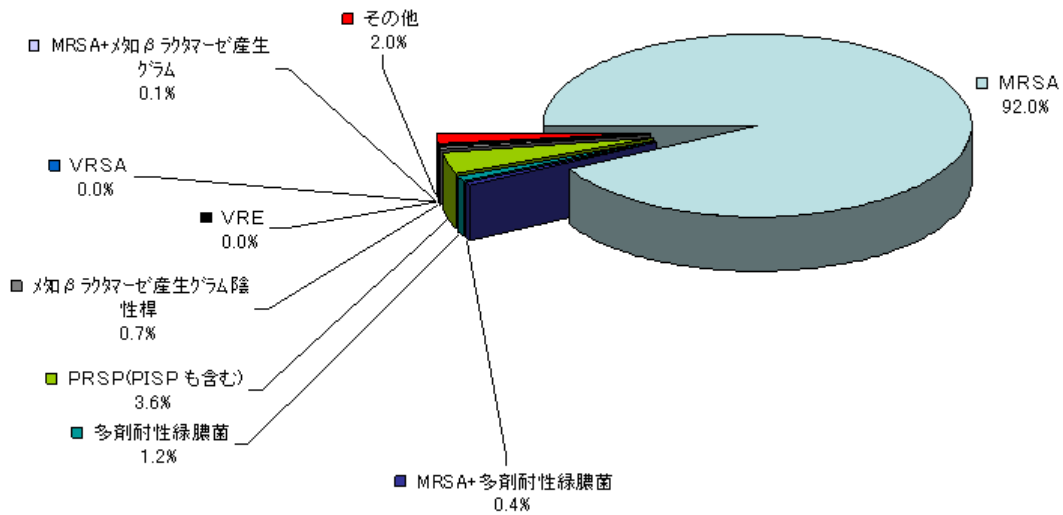
感染率、罹患率はこれらに基づいて算出してあり、12ヶ月の平均を示しています。

注(2)：参加施設数が月によって異なっています。

薬剤耐性菌別感染症患者の内訳（百分率）



薬剤耐性菌別罹患者の内訳（百分率）



◀ 概要・1・2・3・4 ▶

表3 . 感染症及び罹患患者の性別内訳

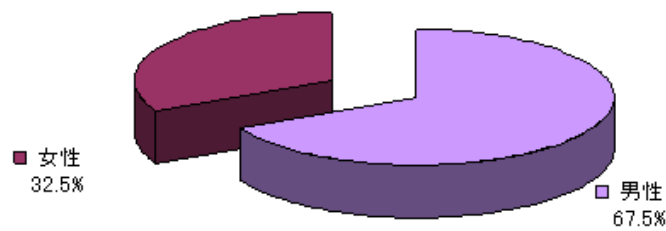
	感染症患者数	罹患患者数	MRSA感染症患者数	MRSA罹患患者数	PRSP感染症患者数	PRSP罹患患者数	その他の感染症患者数	その他の罹患患者数
男性	2,468 (67.5)	2,033 (67.2)	2,271(67.6)	1,883 (67.6)	69(63.3)	68(63.0)	128(67.0)	82(63.1)
女性	1,189 (32.5)	992(32.8)	1,086(32.4)	904(32.4)	40(36.7)	40(37.0)	63(33.0)	48(36.9)
計	3,657 (100.0)	3,025 (100.0)	3,357 (100.0)	2,787 (100.0)	109(100.0)	108(100.0)	191(100.0)	130(100.0)

()内は百分率

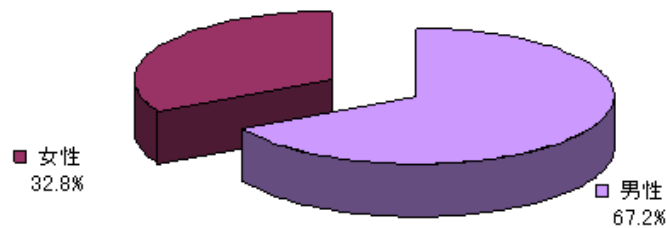
注：MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

全体

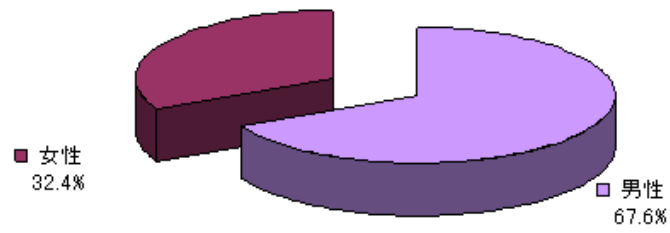
感染症患者数の性別内訳



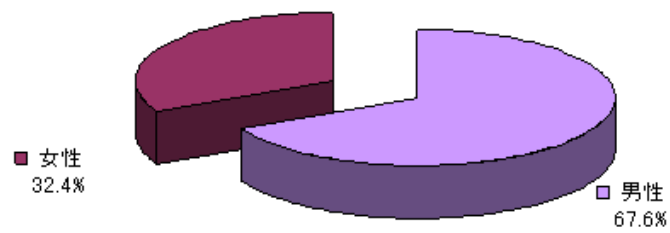
罹患患者数の性別内訳



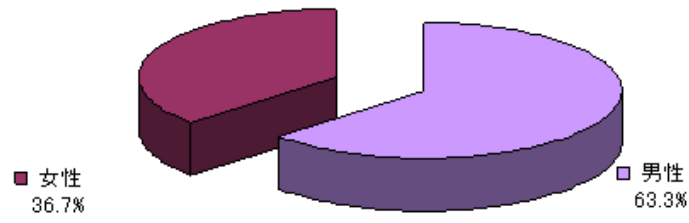
MRSA感染症患者数の性別内訳



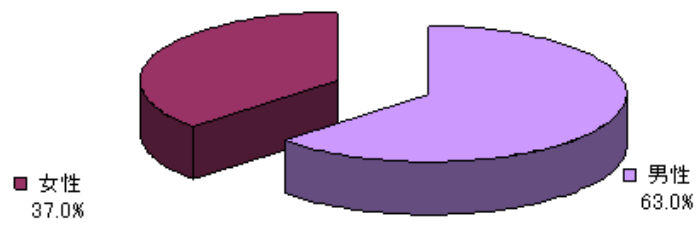
MRSA罹患患者数の性別内訳



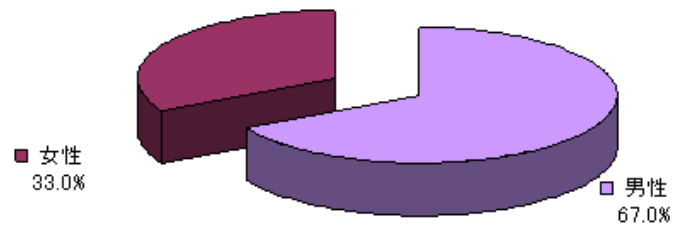
PRSP感染症患者数の性別内訳



PRSP罹患患者数の性別内訳



その他の感染症患者数の性別内訳



その他の罹患患者数の性別内訳

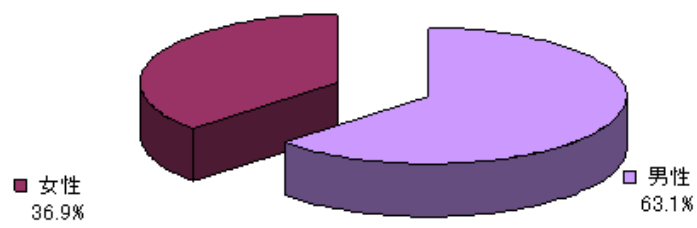
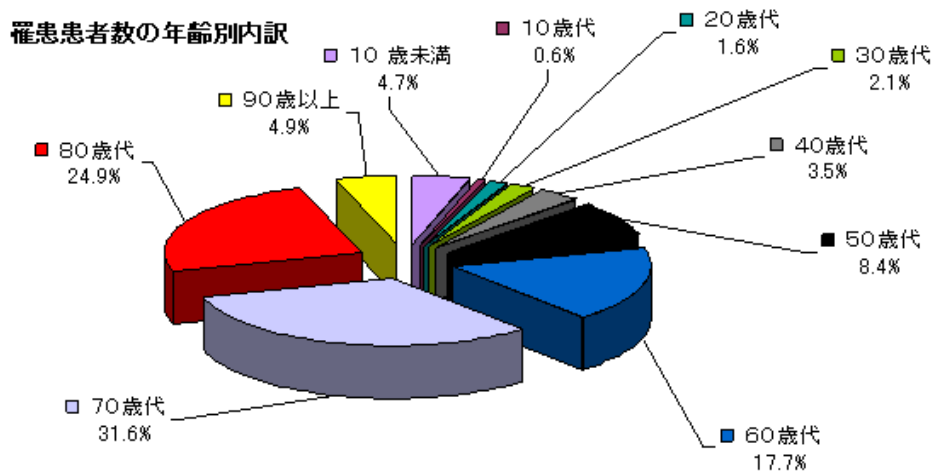
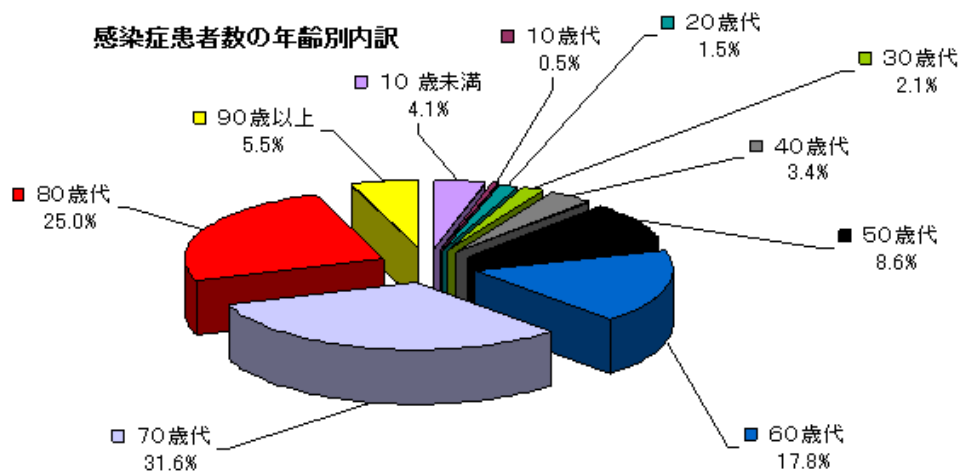


表4. 感染症及び罹患患者の年齢別内訳

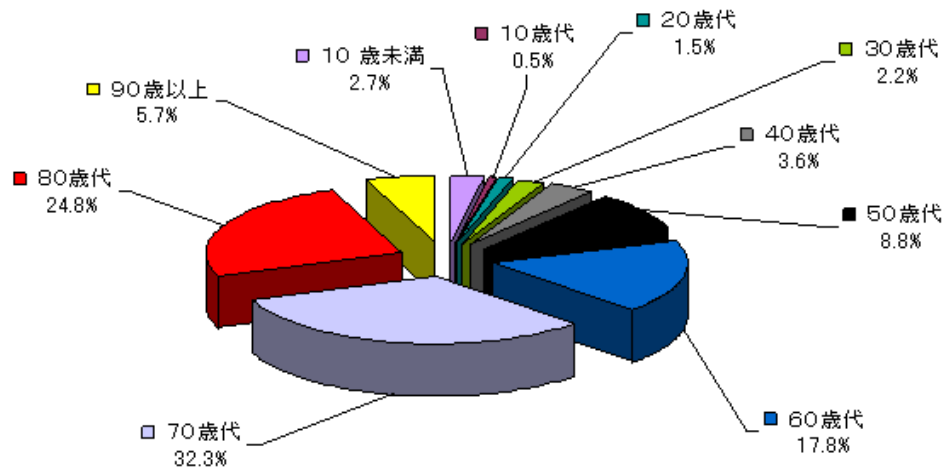
	感染症患者数	罹患患者数	MRSA感染症患者数	MRSA罹患患者数	PRSP感染症患者数	PRSP罹患患者数	その他の感染症患者数	その他の罹患患者数
10歳未満	150(4.1)	143(4.7)	92(2.7)	86(3.1)	53(48.6)	53(49.1)	5(2.6)	4(3.1)
10歳代	18(0.5)	17(0.6)	17(0.5)	17(0.6)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.5)	0(0.0)
20歳代	54(1.5)	47(1.6)	51(1.5)	45(1.6)	0(0.0)	0(0.0)	3(1.6)	2(1.5)
30歳代	77(2.1)	64(2.1)	74(2.2)	62(2.2)	1(0.9)	1(0.9)	2(1.0)	1(0.8)
40歳代	124(3.4)	107(3.5)	120(3.6)	103(3.7)	2(1.8)	2(1.9)	2(1.0)	2(1.5)
50歳代	315(8.6)	255(8.4)	297(8.8)	240(8.6)	6(5.5)	6(5.6)	12(6.3)	9(6.9)
60歳代	651(17.8)	535(17.7)	599(17.8)	498(17.9)	7(6.4)	7(6.5)	45(23.6)	30(23.1)
70歳代	1154(31.6)	956(31.6)	1084(32.3)	898(32.2)	17(15.6)	17(15.7)	53(27.7)	41(31.5)
80歳代	913(25.0)	754(24.9)	833(24.8)	699(25.1)	19(17.4)	18(16.7)	61(31.9)	37(28.5)
90歳以上	201(5.5)	147(4.9)	190(5.7)	139(5.0)	4(3.7)	4(3.7)	7(3.7)	4(3.1)
計	3657(100.0)	3025(100.0)	3357(100.0)	2787(100.0)	109(100.0)	108(100.0)	191(100.0)	130(100.0)

()内は百分率

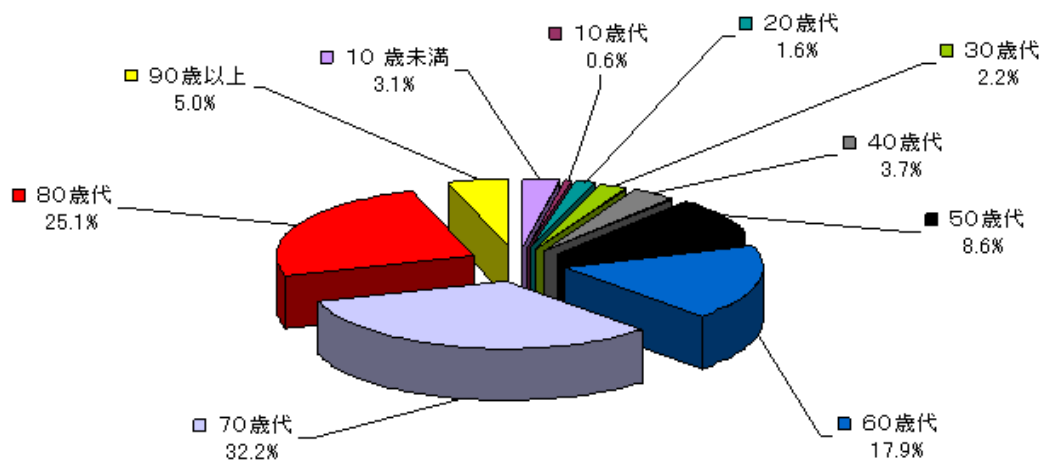
注：MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。



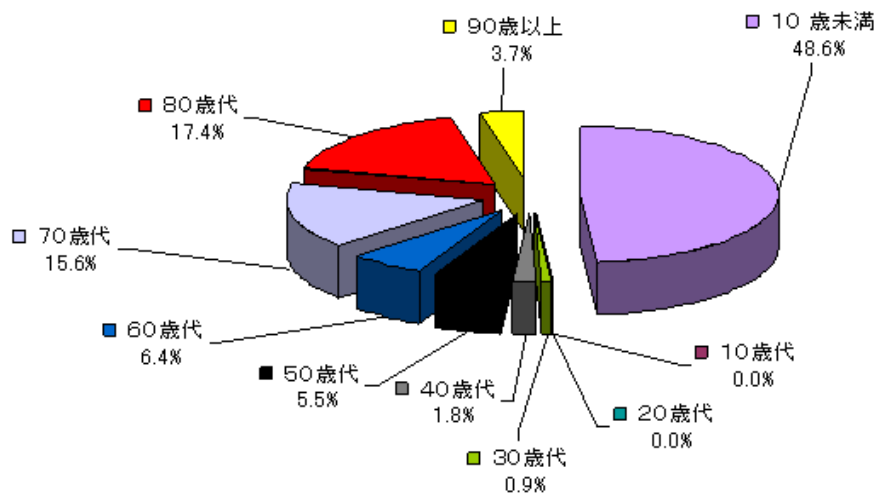
MRSA感染症患者数の年齢別内訳



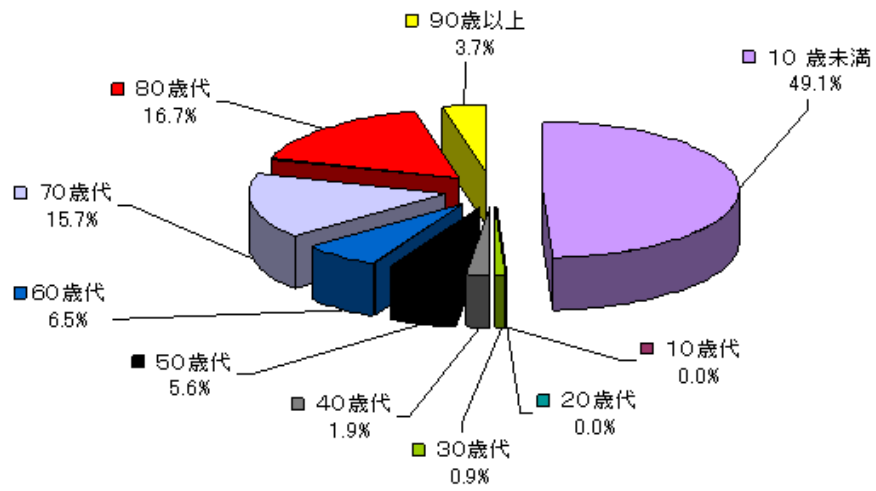
MRSA罹患患者数の年齢別内訳



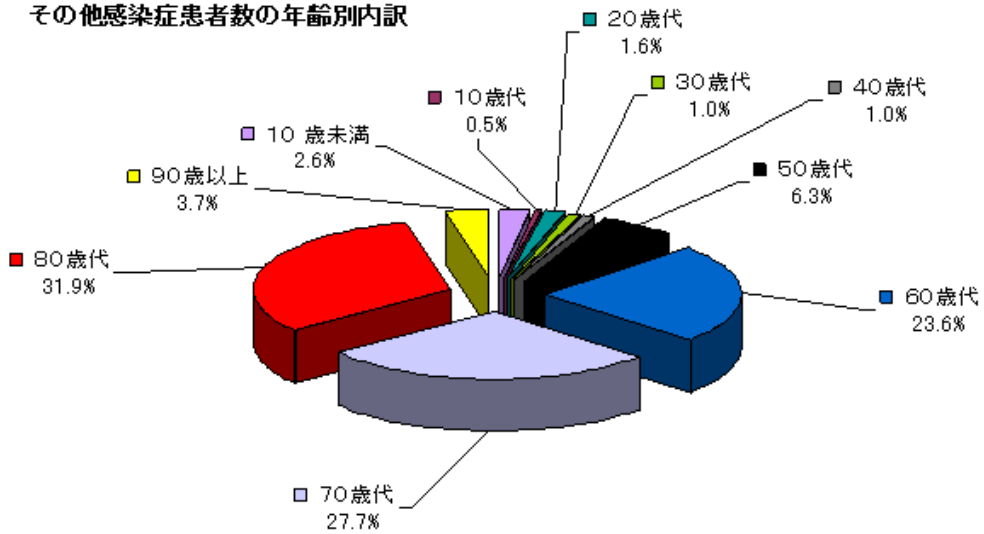
PRSP感染症患者数の年齢別内訳



PRSP罹患患者数の年齢別内訳



その他感染症患者数の年齢別内訳



その他罹患患者数の年齢別内訳

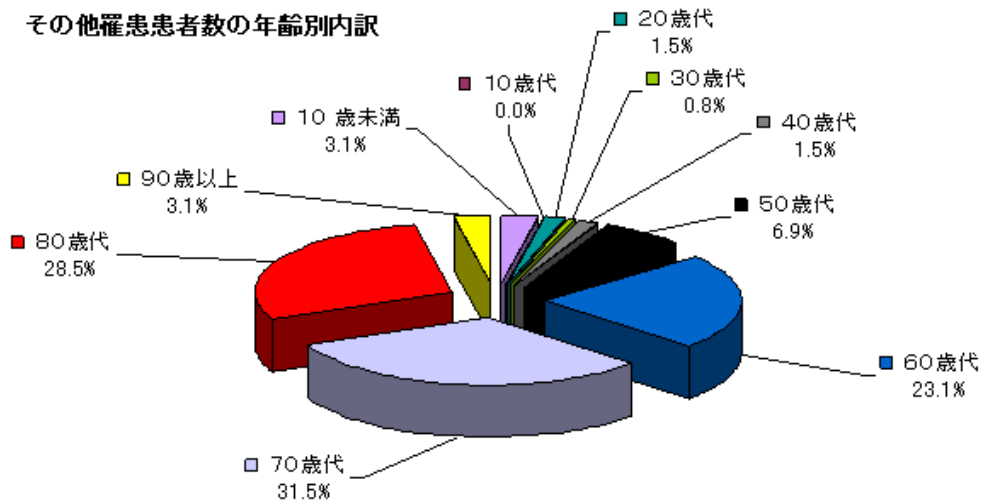
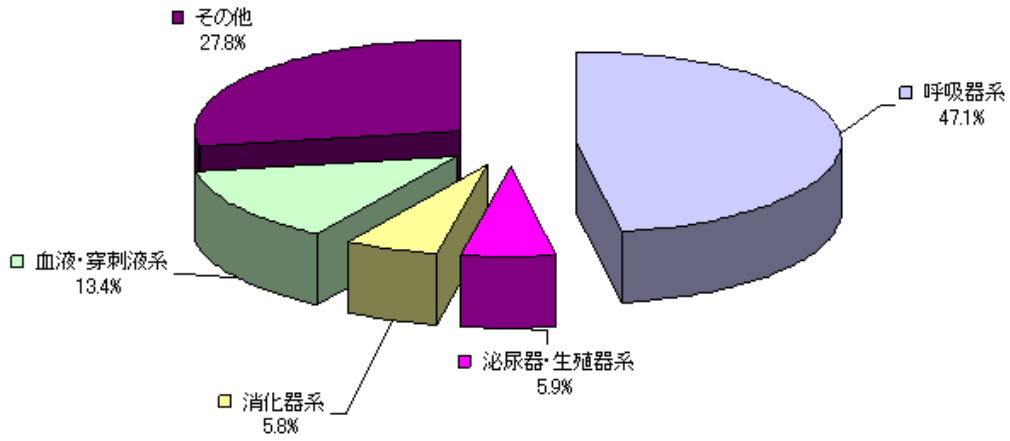


表5. 感染症及び罹患患者の検体内訳

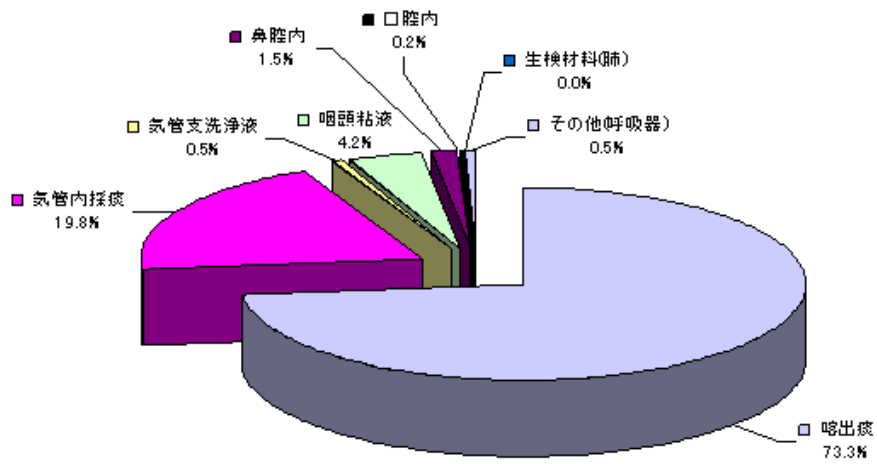
系統	検体	感染症患者	罹患患者	MRSA感染症患者	MRSA罹患患者	PRSP感染症患者	PRSP罹患患者	その他の感染症患者	その他の罹患患者
呼吸器系	喀出痰	1,263	1,035	1,167	950	53	52	43	33
	気管内採痰	342	268	318	249	5	5	19	14
	気管支洗浄液	8	6	8	6	0	0	0	0
	咽頭粘液	72	61	37	26	35	35	0	0
	鼻腔内	26	26	16	16	6	6	4	4
	口腔内	3	3	3	3	0	0	0	0
	生検材料(肺)	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他(呼吸器)	9	6	7	5	0	0	2	1
	小計	1,723	1,405	1,556	1,255	99	98	68	52
泌尿器・生殖器系	自然排尿	63	52	56	46	0	0	7	6
	採尿カテ - テル尿	40	35	31	29	0	0	9	6
	留置カテ - テル尿	77	57	60	43	1	1	16	13
	尿道分泌物	1	1	1	1	0	0	0	0
	膣分泌物	4	4	4	4	0	0	0	0
	カテーテル尿(採尿、留置カテの区別不能)	30	28	27	25	0	0	3	3
	その他(泌尿・生殖)	1	1	1	1	0	0	0	0
	小計	216	178	180	149	1	1	35	28
消化器系	糞便	192	183	189	180	0	0	3	3
	胃・十二指腸液	2	2	2	2	0	0	0	0
	胆汁	10	10	9	9	0	0	1	1
	生検材料(消化管)	2	2	1	1	0	0	1	1
	その他(消化管)	5	5	5	5	0	0	0	0
	小計	211	202	206	197	0	0	5	5
血液・穿刺液系	静脈血	332	268	269	237	4	4	59	27
	動脈血	77	72	72	67	2	2	3	3
	髄液	11	10	10	9	0	0	1	1
	胸水	34	29	33	28	0	0	1	1
	腹水	9	8	9	8	0	0	0	0
	関節液	15	13	14	12	1	1	0	0
	骨髄液	0	0	0	0	0	0	0	0
	心嚢水	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他(穿刺液)	11	9	10	8	0	0	1	1
	小計	489	409	417	369	7	7	65	33
その他		1,018	831	998	817	2	2	18	12
計		3,657	3,025	3,357	2,787	109	108	191	130

注：MRSA感染症の集計はMRSAと多剤耐性緑膿菌の重複感染症およびMRSAとメタロラクタマーゼ産生グラム陰性菌の重複感染症を除いています。

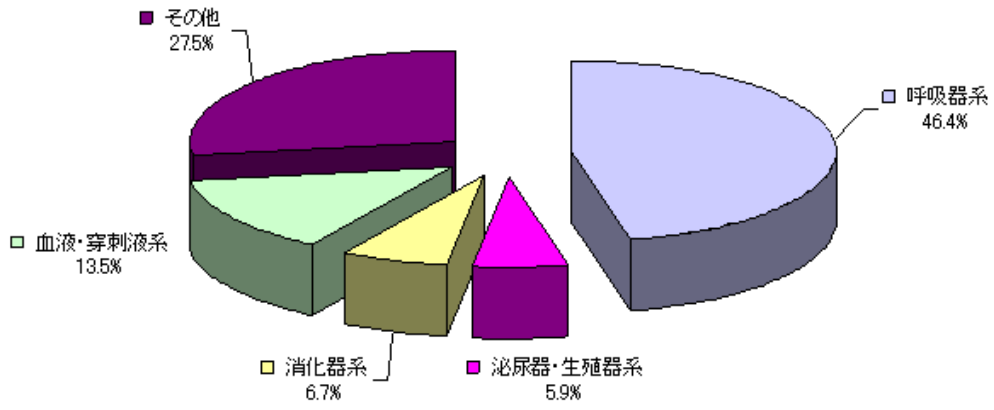
感染症件数の検体内容



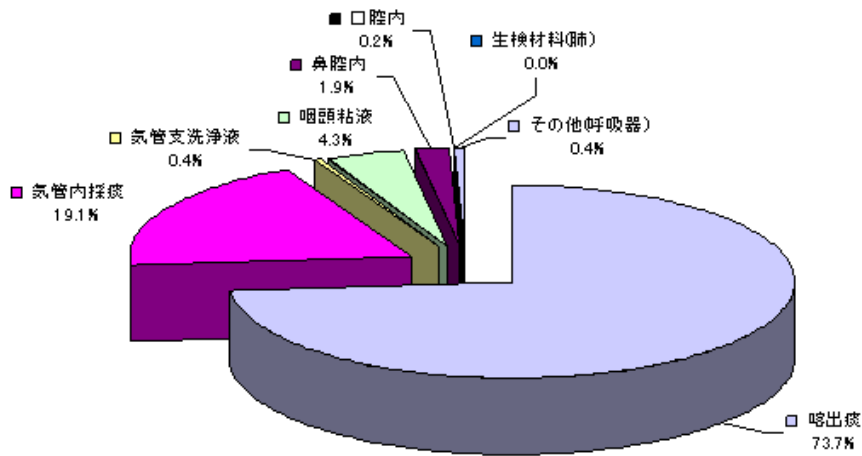
感染症件数の呼吸器系検体内容



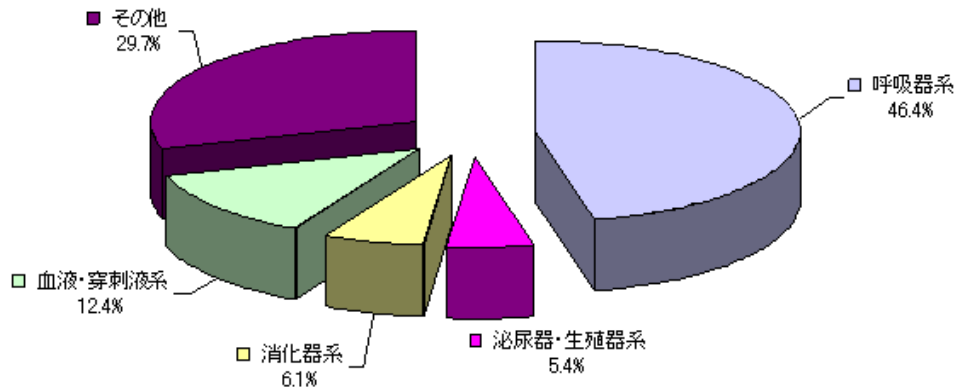
罹患件数の検体内容



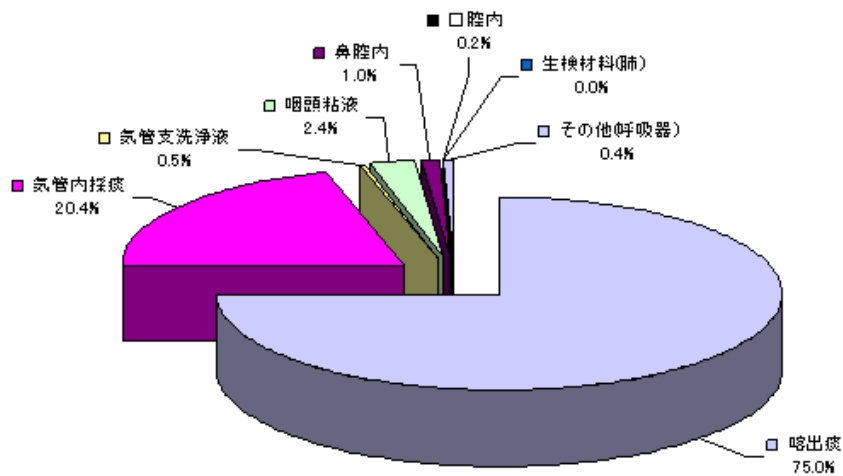
罹患件数の呼吸器系検体内容



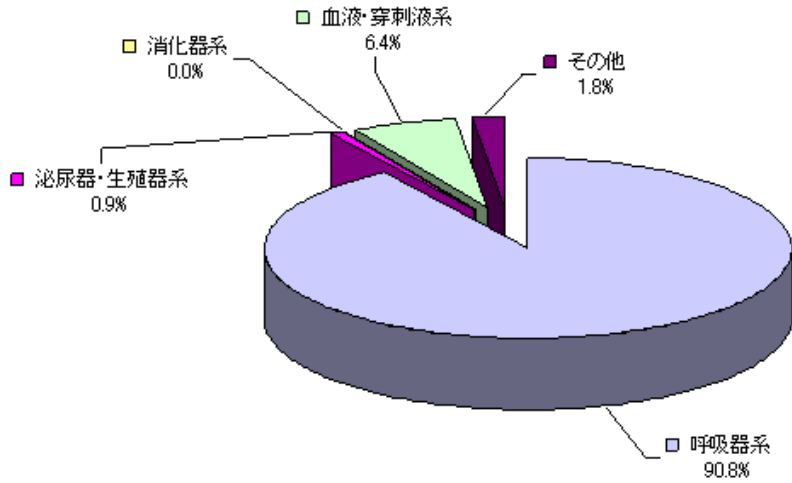
MRSA感染症件数の検体内容



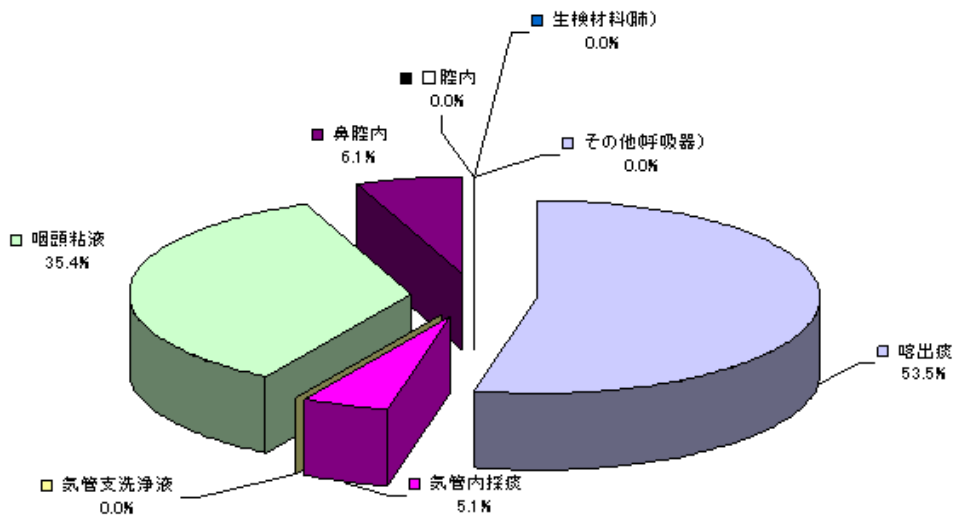
MRSA感染症件数の呼吸器系検体内容



PRSP感染症件数の検体内容



PRSP感染症件数の呼吸器系検体内容



◀ 概要・1・2・3・4 ▶